

南部中学校区 運営協議会だより

第39号

令和8年3月発行

南部中学校区運営協議会

<事務局> 南部中

地域とともにある学校づくりを進めます

南部中学校区の各小中学校(大志小・向山小・浅野小・富士小・南部中)は、学校が地域と一体となって子どもを育み、地域とともにある学校づくりの充実をめざして、様々な取り組みをしています。今回も地域ぐるみでの児童・生徒の育成について、各小中学校での取り組みを紹介します。

これからも「地域の子どもは地域で育てる」「まちづくりは人づくりから」という理念を念頭に置き、地域に開かれた信頼される学校づくりを一層進めていきたいと考えています。今後とも皆様には、よりよい学校をつくり上げていくために、ご理解・ご支援をよろしくお願いいたします。

開かれた学校づくりをめざして

地域・保護者の皆様の支えに感謝 富士小学校

保護者主体の団体「富士っ子ボランティア」の皆様、運動場の側溝掃除をお手伝いいただきました。月に一度、精力的に活動されており、教職員だけでは手の届きにくい環境整備にご尽力いただき、大変心強く感じております。この他にも、ドッジボール大会の開催やベルマーク集計など、様々な場面で子どもたちを支えてくださっています。地域の皆様の温かいご支援に、心より感謝申し上げます。



地域と共に見守る 卒業生の門出

児童会主催の「卒業を祝う会」が開催されました。当日は各学年が趣向を凝らした出し物を披露し、精一杯、卒業生への感謝の気持ちを伝えました。この会には、日頃から学校を支えてくださっている学校運営協議会委員や「富士っ子ボランティア」の皆様も招待し、子どもたちの活躍を参観していただきました。地域の方々の温かい眼差しに見守られ、卒業生の門出を祝う素晴らしい会となりました。



「昔あそびを教わる」 大志小学校

1年生は生活科の学習として、コマ回しやけん玉、あやとりなどの「昔のあそび」に親しんでいます。1月30日（金）には、毎日の登下校見守りでも大変お世話になっている青空隊の方々に来校いただき、竹とんぼについて教えていただきました。児童一人一人に手作りの竹とんぼを準備してくださり、児童も大喜びでした。風が起こる仕組みを体験したり、飛ばし方のアドバイスをを受けたりして、何度もやっているうちにコツをつかみ、高く遠くに飛ばせるようになりました。特製の大きな竹とんぼにもびっくりでした。

ちよいポラ隊（ミシンの授業） 浅野小学校

5、6年生が家庭科で行う「ミシンの授業」のボランティアとして、保護者の方にも参加していただいています。活動内容は、子どもたちがミシンを扱う際に温かく見守りながら、声かけや支援をしていただくことです。慣れないミシンを不安そうに扱う子どもたちにとって、保護者の方の支援はとても心強いものがあります。今後もちよいポラ隊への積極的な参加をお待ちしています。



一丸選手をお招きしました 向山小学校

12月22日、キャリア教育講師として本校卒業生でアスルクラロ沼津の一丸大地選手をお招きしました。「小さな目標を決めて計画を立て、努力する癖を身に付けてきた。その積み重ねが今の自分をつくっている」と話してくださいました。「自分だけは自分を信じる。あきらめない人がプロになる」という言葉は子どもたちの心に響きました。「好きなことを大切に、今を頑張って」とあたたかいエールもいただきました。一丸選手、ありがとうございました！

健全育成講演会 南部中学校

12月2日（火）に田中哲也さんをお招きして講演会を行いました。

講師自身のいじめ経験をもとにした「いじめ防止」をテーマに話をいただきました。笑いユーモアを交えながら、飽きさせない話術であっという間の時間でした。相手を思いやるコミュニケーションの重要性や、夢をもって前に進む大切さなど、分かりやすい言葉でしっかりと伝えていただきました。

